

2023年度事業計画

2023年4月1日～2024年3月31日

特定非営利活動法人 こども∞感ばにー

ビジョン：子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに

ミッション：どんなときも子どもの可能性を信じる大人であり続けます

子ども心と勇気を持って、子どもが安心して過ごせる環境を地域とともに創造し続けます

1 事業実施の方針

プレーパーク事業とフリースクール事業に軸足を置くとともに、子どもの社会課題への取組みとして、ネットワークによる活動に力を注ぎ、また、放課後児童健全育成事業の受託に向けて動いた一年だった。

また、家庭に課題を抱えた子どもへの対応が増え、各専門機関との連携をおこなうと同時に、プレーパークとフリースクールの必要性を強く感じた年だった。

今年度は、新たに放課後児童クラブ事業が加わり、3つの事業において『子どもを真ん中』にした居場所を、地域の理解を深め、一緒に活動をおこなう仲間を増やしていく。

そのためにも、スタッフが地域コーディネートとプレイワークのスキル向上をおこない、ボランティアの受け入れを積極的におこなう。

また、行政と子どもの遊びと居場所に関する話し合いに出席の機会をいただいていることから、市内に児童館やプレーパーク、『不登校』の学びの場を増やす必要性を多く発信していく。

また、組織基盤強化と資金調達力を高め、助成金に頼らず（少額のものとは別）継続的な運営の実現に向けた体制づくりを3か年計画で始めていく。

《重点目標》

●各ネットワーク・地域連携事業により社会課題の解決に向けて

子どもの居場所の必要性の理解が高まり、『不登校』の居場所に関する取組みが動き始めていることから、ネットワークによる当事者の声の発信や学習会などを積極的におこなう。これまでの足踏み状態から一歩前進する。

コミュニースクール化に伴い、地域連携が重要視されることから渡中学区WWIと共に地域のパイプ役として勤める。また、①渡中学区3校の運営委員会が一体化 ②子ども運営員の設置 ③生きたコミュニースクール化の実現 に向けて各校担当スタッフ同士も連携していく

●人材育成

市内にプレーパークやフリースクールを増やすために、また本会の活動を深めるためにも地域の人やボランティアに『プレイワーク』の要素を取り入れた見守りの大切さを伝え理解者を増やす。これらの人材育成によってプレイワーカーが増え、結果居場所が増えることにつながる。

●組織基盤強化と資金調達

2023年度・2024年度には、プレーパークとフリースクールの助成金が終了するため、資金調達力をつけることが急務である。石巻市内の企業や個人の方からのご寄付や、継続サポーターの増員をこどばに一スタッフだけでなく正会員や地域のキーパーソンに協力いただくための資金調達の体制づくりをおこなう。

≪事業≫

①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業

◆プレーパーク事業

【目的】子どもが自分の責任で遊べる機会を創出し、子どもの生きる力を育む

●プレーパークわたのは

【目標】

- ・学生ボランティアが増えてきているが、地域の人や未就学児親子が継続して関わることは少ないため、イベント（現場の整備イベントも含めて）やご飯づくりを通して来訪のキッカケを増やし、関わる大人を増やす。
- ・プレーパークや子どもの居場所・あそび場の必要性を伝えることで、子どもを見守る目を増やし、子どもが遊びやすい環境と地域と一緒につくる。
- ・2024年までに渡波中学校区の子どものための居場所の一つとして認知されることを目指す
- ・開催予定回数 140回
- ・地域住民がプレわたに来所しやすい環境づくりをおこない来所人数の増加
- ・来所人数 子ども延3,000名、大人1,080名（内、秋祭り150名）
- ・開催外利用人数 子ども延1,325名、大人延200名

【事業内容】

- ・開催日時：金 曜 日 15：00～17：00
土・日曜日 10：00～16：00
- ・環境整備
ウッドデッキ屋根作成/やぐら補修/バスケットゴール移動
- ・地域住民との連携
秋祭り（10月）/黄金浜自治会【地域ゴミ拾い(毎月)・側溝掃除(11月)】/教育機関との情報交換・共有（各校年3回程度）/地域の声を拾う(随時) /放課後児童クラブ受け入れ
- ・人材育成
子どもと家族の見立てスキル向上のための研修/子どもへの対応スキル向上のための研修・プレーワーカー会議/ボランティア受け入れ体制の整備（マニュアル、受け入れ窓口・体制作り）
- ・広報
会報誌の配布（地域住民、市役所）/イベントチラシ配布（渡小、渡中）/チラシ配布（渡小）/FB・ブログの更新/こどばにーの日動画作成/秋祭りプレスリリース
- ・調査
子どもの居場所に関する調査（開催時外の子ども来所数・子どもへのアンケート）

●鹿妻プレーパーク“ひがこー”

【目 標】

- ・継続的ボランティアや、地域の人、保護者とともに開催できる体制を整える。
- ・常連の保護者とともに子どもの見守りをおこなうことで、プレーワーク的な見え方・考え方の理解者を増やし、地域での子どもを見守る目を増やしていく。
- ・開催数 50回（うち春季・夏季各1回 一日遊び開催：10：30～16：00）
- ・来所人数 子ども延1,000名、大人延300名 合計延1,300名

【事業内容】

- ・開催日時：毎週水曜日 15：00～17：00（冬季は16:30迄）
- ・環境整備
 - 長い木材の保管倉庫制作
- ・ボランティア受け入れ強化
 - SNS や Live によりひがこーの現状や「これから」を発信しボランティアを募る
- ・広報
 - 来所する子どもと地域住民に会報誌を配布/一日あそび場開催チラシ配布
- ・地域連携
 - 鹿妻小学校への新年度挨拶と子どもに関する情報交換・共有 2 回
 - 鹿妻小学校「農村クラブ」サポート 年 1 回

●プレーパーク・プレイワーク普及事業

【目 的】

地域の子どもの孤立をなくし、安心して暮らせる社会になるため、市民にプレーパーク及びプレイワークを普及する

【目 標】

プレイワークを理解する大人を増やし、地域住民と協働で子どもを見守る体制づくりと普及活動を行うことで、子どもの自由な遊びの機会を増やす

- ・移動式プレーパーク開催回数：延べ5回、振り返り会5回 全体振り返り1回 計11回
- 利用者人数：子ども延150名 大人延100名 計250名

【事業内容】

- ・移動式プレーパーク
 - 実施月は奇数月（7.9.11.1.3月） 準備&振り返り会（※）は偶数月（6.8.10.12.2月）
 - ※実施の振り返りと次回の開催に向けた話し合いをおこなう
 - 開催場所：北上、雄勝、東松島

◆フリースクール事業

●フリースクール“ほはっく”

【目 的】

安心して過ごせる居場所や、「やってみたい」を実現できる環境をつくり、学校に行けない子ども

が、社会の中で自立するためのサポートをおこなう

【目 標】

- ・ほはっくの保護者同士が繋がり、『不登校』に関する情報交換や子どもに関して話し合える機会をつくる。
- ・地域の人が不登校理解深めるために、イベントを子どもと企画・実施し活動に参加する機会をつくる。
- ・開催日数 150回
- ・登録者数 44名(+新規6名) 常時利用者数：10名
- ・利用人数 平均8名 延1200名
- ・本人の意思による高校進学や復学 社会への自立 3名
- ・出席扱い学校数 在籍児童生徒が通う全校（累計12校）

【事業内容】

- ・子ども
 - 子ども会議（月2回）/体験活動の実施/子ども主体の企画（工場見学、合宿など）、季節行事
 - 子どもの意思による高校進学や復学サポート
 - 被虐待児童生徒への心のサポート（カウンセリング）
- ・保護者
 - 面談/相談 月1回～2ヶ月に1回
 - 保護者会 3回（4月、9月、1月）
- ・地域/ボランティア
 - 地域の人が子どもに関わるきっかけとなるイベント実施
 - 振り返りや研修によるボランティア育成
 - 常時来所するボランティア1名
- ・行政/教育機関
 - 石巻市の学校、SSWや虐待防止センター、保護課などの教育機関・行政機関と連携体制の構築
 - 活動記録を作成し、登録児の在籍校に提出。子どもに関する情報共有（毎月）
 - 教育支援センター視察（4～5月）
- ・環境整備
 - 子どもが過ごしやすい環境づくり
 - 子ども会議用『議題ボード』設置
- ・広報
 - パンフレットの設置場所拡大
 - SNS発信

◆放課後児童クラブ事業

【目的】

放課後児童クラブに通う子どもにとって、児童クラブが楽しく、安心して過ごせる環境となること

で、子どもの心身ともに健全な育成を図る

【目標】

- ・子どもにとって居場所となるような場づくりをおこなうとともに、子ども自身が児童クラブをつくる体制を構築する。
- ・保護者にとって子育てのパートナーとなる。
- ・新規児クラ職員は、子どもの主体性を受けとめ、引き出せる場づくり・関わりを実践し育成支援を理解する。
- ・石巻市の各種条例に記述される文言『指導』から『支援』へと移行していく
- ・地域住民がボランティアとして関わることや企業連携を図ることで、地域に開けた放課後児童クラブを確立する

【事業内容】

- ・子ども
 - 子ども会議による子ども企画イベント実施
 - 土曜スペシャルデイ実施（お出掛け、ボランティア交流、料理他）
 - 児クラ利用に関するアンケート調査
- ・保護者
 - 子育て相談窓口設置
 - 保護者会や児クラ利用に関するアンケート調査
- ・地域
 - 地域住民ボランティアによる見守り、遊びの伝承、伝統・季節料理づくりなど実施
- ・ネットワーク
 - 児童クラブ民間受託者の協議会構築（勉強会、事例共有など）
- ・スタッフ育成
 - 月1～2回の研修（運営指針、リスクマネジメント、各種緊急時対応、プレーワークなど）

◆地域・民間団体との連携事業

●石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会

【目的】

石巻全域の子どもが、自らの足で出向ける場所にプレーパーク（居場所）があり、地域で子どもを見守る体制を構築することで、子どもの孤立を防ぎ、安心して暮らせる地域づくり

【目標】

6年後までに、石巻市内13か所の子どもの居場所（児童館、プレーパーク）設置を目指し、構成団体や地域住民と連携して子どもの居場所を増やすための取組をおこなう。

【事業内容】

- ・役員会議 月1回程度（組織体制づくり/事業計画）
- ・蛇田地区の移動児童館運営サポート
- ・総会開催

●渡中学区WW I (わっしょい渡波委員会)

【目的】

渡波中学校区の子どもが地域で見守られ、安心して暮らせる地域をつくる

【目標】

- ・渡波中学校区(小学校2校、中学校1校)のPTAや民生委員、社会福祉協議会などと「地域の子どもは地域で見守り育てる」を合言葉に渡波地区の任意団体として地域活動や学校行事お手伝いなどおこなう。また、コミュニティスクール運営委員として、学校や児童生徒と地域のパイプ役となり地域に開けたコミュニティスクール化を目指す。
- ・地域住民メンバー30名 (+5名)

【事業内容】

- ・定例会議 月1回程度
- ・イベント
肝試し大会や逃走中など、子どもアンケートを実施し決定
- ・地域活動への協力
渡波中学校生徒企画 廃品回収事業へのサポート (6月・10月)
プレわた夏祭りサポート など

●多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

【目的】

教育機会確保法の理念を基に、宮城県内の民間の団体・教育委員会・行政などのネットワークを構築し、子どもが選択できる多様な居場所が保障される地域社会をつくる

【目標】

不登校支援団体や議員を含む市民が連携し、行政と協働を図るための体制づくりをおこなう
これにより宮城県の不登校への教育システムや官民が連携した子どもの見守り体制が誕生する

【事業内容】

- ・定例会議 月1回程度 (総会、事業計画、資金調達)
- ・研修会(教育機会確保法、先進事例検討会、不登校理解を深める講座実施など)
- ・調査活動(当事者の意識アンケート/昨年からの継続)
- ・交流イベント (県内フリースクールや居場所に在籍する子ども同士の交流)
- ・情報の共有と発信 (居場所マップ配布、フェイスブック等)
- ・意見交換会 (対象：行政、県議会議員)

●まずは石巻から不登校という言葉がなくすネットワーク

【目的】

子ども一人ひとりが自分に合った学びの場に出会い、安心して暮らせる社会をつくる

【目標】

- ・不登校の居場所や相談に関する情報を必要とする親子に、石巻市内の情報を届ける仕組みづくり

- ・「不登校は問題行動ではない」「居場所の必要性」について発信し不登校理解者を増やす
- ・賛同者（メンバー含む）：15名
- ・当事者の声を行政に届ける

【事業内容】

- ・定例会議（事業計画立案）と情報交換会（月1回程度）
- ・親の会「おでんの会」12回
- ・石巻市内の子どもの居場所マップ作成

②子育てサポート事業

【目的】

気軽に子育て相談ができる環境と、市内に少ない不登校相談窓口を設置することで、孤立した保護者のサポートをおこなう

【目標】

相談件数：延べ120件

【事業内容】

- ・面談式相談（事前予約）：平日10：00～18：00 ※オンラインや電話での相談も可
- ・ながら相談：プレーパーク開催時随時受け入れ

③自然体験プログラム事業

【目的】

大自然の中でのサバイバルキャンプを通じて、好奇心・発想力・仲間との協調性などを学ぶ

【目標】

- ・プレーパークとフリースクールを利用する子どもが共に過ごし、シナリオにできない様々な経験をする機会にする。主体性を重んじ、終了時には子どもそれぞれが一回り成長している。
- ・参加人数：12名程度
- ・開催地：石巻市牡鹿半島

④前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業

●啓発事業（講座/研修）

- ・講師派遣：外遊びの大切さ講座/愛着形成がもたらす親子関係/プレーパークのつくり方
/不登校を理解するための講座 10回

●情報発信事業

HPリニューアル /事業紹介パンフレット作成 /継続サポーター募集リーフレット作成 /フリースクール映像制作準備（2024年度完成）/会報誌「だん子むし」800部発行 /プレーパーク映像2本拡散 /SNS配信（Facebook、Instagram、ツイッター、ブログ1回/週）

●人材育成事業

- ・事業スキル向上のためのスタッフ研修

カウンセリング（年4回1名）

居場所研修：東北圏内のプレーパーク

- ・組織運営のためのスタッフ研修

資金調達（寄付・会員拡大他）

- ・外部人材育成

ボランティア（市内高校生、市内在住の大学生、県外）/インターン受け入れ

視察受け入れ など

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- 主たる活動地域内

コミュニティスクール運営委員会（渡波中・鹿妻小・渡波小）/石巻市社会福祉推進委員会 /子ども・若者支援地域協議会（石巻圏域） /不登校児童生徒の支援に関する情報交換会（宮城県教育委員会）/不登校支援ネットワーク連絡会議（東部教育事務所）/石巻市不登校懇談会（石巻市教育委員会）/SSW連絡会議（石巻市教育委員会）/教育支援センター運営委員会（石巻市教育委員会）/子どもの居場所懇談会（石巻市福祉部子育て支援課）

- その他（石巻市内）

都市計画審議委員会 3回 /NPO法人子どもにやさしいまちづくり理事 3回程度

/NPO法人にじいろクレヨン理事 年4回

- 組織基盤強化

資金調達プロジェクト

個人・企業寄付、継続サポーター（2023年度より名称変更）を増やし、2026年度からは助成金から完全にフェードアウトできる体制づくりを行う。そのために資金調達3か年計画を立て、確実に実施する。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者名	受益者	事業費(円)
① すべての子どものための居場所(あそび場)に関する事業	プレーパーク事業 ・プレーパークわたのは ・鹿妻プレーパークひがこー ・プレーパーク・プレイワーク普及	金・土・日 水 随時	渡波 鹿妻 市内	4名 1名 2名	幼児 ～高校生 延7,275人 地域住民 延2,255人 (335回)	13,000,000
	フリースクール事業 ・フリースクールぼはっく ・面談/相談	火・木・金曜 随時	鹿妻 鹿妻・渡波	3名 1名		
	放課後児童健全育成事業	随時	渡波	8名	-	23,230,000
	地域連携・ネットワーク事業 ・石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会 ・多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク ・渡中学区WWI ・まずは石巻から不登校という言葉をなくすネットワーク	15回/年 15回/年 15回/年 10回/年	宮城県内	2名 1名 2名 1名		600,000
② 子育てサポート事業	・地域住民のプレーパーク開催サポート ・子育て/不登校相談	火 随時	渡波	2名	-	100,000
③ 自然体験プログラム事業	・サバイバルキャンプ	夏季-	牡鹿半島	4名	小～高校生 18名	300,000
④ 社会体験プログラム事業	※活動予定なし	-	-	-	-	-
⑤ 前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業	啓発事業 ・講師派遣 ・活動報告会		石巻市内 石巻市内	2名 3名	-	2,940,000
	情報発信事業 ・HP改訂と拡散 ・事業紹介パンフレット作成 ・継続サポーター募集リーフレット ・フリースクール映像制作準備 ・会報誌「だんごむし」 ・こどばにー映像2本拡散 ・ブログ ・Facebook / Instagram ・ツイッター ・各事業パンフレット配布	7月～12月 9月 9月 10月 年4回 随時 月4本 随時 随時 年1回	-	全スタッフ	-	
	人材育成事業				-	

	・居場所研修 ・カウンセリング ・資金調達研修	未定 年4回 通年	東北圏内 オンライン 石巻市内	2名 1名 全スタッフ		
⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業	・主たる活動地域内での委員 ・石巻市内における委員や役員	随時 随時	石巻市内 石巻市内	1名 1名	-	330,000

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

理事会の開催（年3回他必要に応じて開催）

(2) 運営体制

運営に関わるスタッフは以下の通り

代表：田中雅子

常勤スタッフ：5名

非常勤スタッフ：8名

(3) 会員

【目標】

・正会員 24名(+1名)

・継続サポーター 150名(+65名)

(4) ボランティア（県内の高校生・大学生を中心に受け入れ/短期含む）：20名

(5) 地域社会や他団体との連携について

宮城県教育委員会、宮城県共同参画推進課、宮城県東部児童相談所、宮城県東部教育事務所、石巻市教育委員会、石巻市福祉部子育て支援課・保育課、石巻市都市計画課、石巻市総合相談センター、石巻市社会福祉協議会、石巻市立渡波小学校、石巻市鹿妻小学校、石巻市渡波中学校、他小中学校多数、公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク、NPO 法人ベビースマイル石巻、NPO 法人 TEDIC、NPO 法人にじいろクレヨン、NPO 法人子どもにやさしいまちづくり、一般社団法人プレーワーカーズ 多様な学びを共につくる・みやぎネットワークなど連携団体は多数

以上